

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道鬼石 4 1 4 2 号 〈その他〉舗装補修工事	藤岡市	4,611,600	4,400,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道鬼石 4 1 4 2 号〔その他〕舗装補修工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		藤岡市		
交付金事業実施場所		藤岡市 保美濃山 地内		
交付金事業の概要		舗装補修工事L=178.3m 表層工A=927.0㎡ 舗装版破砕A=927.0㎡ 殻運搬処分V=74.2m <sup>3</sup>		
総事業費		4,611,600	交付金充当額	4,400,000
			うち文部科学省分	0
			うち経済産業省分	4,400,000
交付金事業の成果目標		本路線は、国道462号線(夜沢地区)から三波川地区を最短で結ぶ生活道路であるとともに神流湖周辺の観光道路であるが、ここ数年舗装の損傷が激しく、舗装に剥離や亀裂が生じ通交に支障を来している状況である。地域住民からも補修工事の要望が出されているため、本事業により舗装を補修し、通行の支障となっている剥離や亀裂等を解消し地域住民安全・生活環境の改善を図る。		
交付金事業の成果指標		<p>地域住民の安全・生活環境の改善を図るためには、舗装の損傷が著しい箇所を補修することで、騒音・振動及び通行の安全性を向上させることが必要となる。</p> <p>今年度は、本交付金を活用し、延長199m補修面積995㎡の舗装補修を実施し、地域住民等の通行の安全確保及び生活環境改善のため、舗装補修実施割合55%を目標とする。 (H28舗装補修実施予定面積995㎡／舗装補修全体面積1,797㎡)</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、本年度は延長178.3m、面積927㎡の舗装補修を実施した。</p> <p>舗装補修工事を実施した事により、通行の支障となっていた路面の剥離や亀裂等が解消された。地元区長を通じ地域住民から意見を聞き取ったところ、全ての方から振動・騒音が改善され安全になったとの意見を頂いた。</p> <p>今年度は、舗装補修実施割合51.6%を達成することができ、地域住民の生活環境改善を図ることができ、来年度も舗装補修工事を継続し、地域住民の福祉向上を図ることとする。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
道路の舗装補修		指名競争入札	(株)倭組	4,611,600
		計		4,611,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	平成30年度

---

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載